

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型発達支援 そらぼし (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和7年3月8日		令和7年3月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 2人	(回答者数) 2人	
○従業者評価実施期間	令和7年3月8日		令和7年3月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4人	(回答者数) 4人	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動部屋は個室化しており、プレイルームと分ける事で、構造化を行っている	活動場所の構造化、スケジュール化を行い、見通しを持って安心して活動できる環境設定を行っている。	個別認知活動の内容の充実化
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合ったり、実際の療育場面を参観してもらったりし、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができています。	保護者に活動に同席してもらい、活動や関わりの意図をお伝えしたり、ご家庭で取り組めそうな関わりの助言を行っている。	ペアトレやカウンセリングなど保護者様への直接的な支援の実施。
3	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応している。	小さいことでも話を聞き、その時の対応などアドバイスを実施。定期的に面談を行い、保護者の意見を聞いている。	面談日を調整しながら、細かな困り感を共有していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	遠方からの来所による支援が多く、交流の機会を持つことが難しい。	頻度の調整や休日を利用したイベントなどの企画をしていく。
2	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	個別担当制の為、担当スタッフが中心となりがちである。	カンファレンスの充実化や複数担当制などを検討し、情報の共有を図っていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型発達支援 そらぼし

公表日 令和 7 年 3 月 31日

利用児童数 3人

回収数 2人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2			個室があり、配慮されていると思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2			とてもきれいだと思います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2			こどもの療育中の様子をしっかりと把握して頂き、それが計画に活かされていると思います。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			1	1	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				2	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	2			毎回の面談で日々の相談が来ています。 療育の様子で前回からの成長が見られています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2			気になっている事をその都度相談に乗ってもらえてとても助かっています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2			姉妹で見てもらっています。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				個別の対応をしてくれている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2				毎月の通信で活動内容がよくわかります。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2				楽しみにしているようで、「次はそろそろいつ行くの？」と聞いていました。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				とても満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型発達支援 そらぼし					公表日	2025 年 3 月 31 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		個室が3つとプレイルームがあり、十分なスペースがあります。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		R7年度より基準人員+2名を配置する予定です。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		個室や幼児用のトイレを用意しています。必要に応じてパーテーション等で区切りを設けています。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日掃除を実施しています。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		子どもの状況に応じて、個室を活用しています。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		事業所内での定期的なカンファレンスと、法人役職員との面談を行っています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		評価結果を受けて改善に心がけています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎週、定期的な会議を実施しています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		札幌市自閉症発達支援センターおがるの機関支援を受けています。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		事業所内外で実施しています。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		年度内に公表予定です。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	1	必要に応じて発達検査、言語評価などを実施実施しています。	全ケースには実施出来ていません。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		担当スタッフのアセスメントと全スタッフによるカンファレンスを実施しています。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		職員内で原案を回覧し、修正しています。定期的なモニタリング実施しています。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	心理検査、言語検査等を実施しています。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		会議内で話し合いを行っています。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		スモールステップを意識した構成を行っています。				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	2	保護者様同席のもと、完全個別で実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝礼で一日の流れを共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		定期的な活動や関わり方の振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		活動記録、面談記録をとり、回覧にて共有しています。	業務内で終了しないこともあります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年1回、年2回実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		担当者、児発管が出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		子ども支援部会に参加しています。相談支援センターとの連絡を密に行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		4	対象ケースがいなく、まだ実施していません。	対象ケース、必要に応じて実施していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		4	対象ケースがいなく、まだ実施していません。	対象ケース、必要に応じて実施していきます
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	土曜日の活動が多く、交流の機会は持てていません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		療育に同席してもらったり、振り返りや面談時にお伝えしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	個別にはお伝えしています。	全体での周知や、保護者会などの開催は今後していく予定です。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1	契約時、事業内に掲示しています。	変更時の説明や体制などの変更を今後、丁寧にお伝えしていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		年1回二一ズの見直し、保護者様からの聞き取りを行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		面談時に原案を提示し、説明を行っています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		活動の振り返り時や面談時に実施しています。	知識の向上、伝え方の工夫を行っています。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	姉妹での受け入れを行っています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		適宜面談を設定し、相談員に報告しています。 メールでの対応も実施しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		月1回の通信の発行、HPへの掲載を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個室での面談、鍵付きの書庫にて書類を管理しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		タブレットを使用し、動画などの視覚的な媒体を利用しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		開設記念パーティーを開催し、地域の方も招待しました。	今後もイベントを企画していきます。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		年1回実施しています。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		机上、実践を年に1回ずつ実施しています。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		フェイスシートを更新しています。	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		フェイスシートを更新しています。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		イベント時には事前にお伝えしています。	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		インシデント報告で共有しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		研修会に参加しています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		4	対象ケースがいなく実施していません。	必要に応じて関係機関との連携を図ったり、相談を行っています。	